

SUPER GAINER

DIAMOND
ANTENNA

K400 トランク・ハッチバックベース(基台のみ)

K400M トランク・ハッチバックベース(基台・ケーブル)

(意匠登録第857922号)

取扱説明書

このたびはアンテナベースをお買い求めいただきまして誠にありがとうございました。

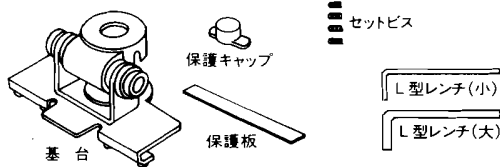
本取扱説明書はK400、K400Mをまとめて説明しています。

お読みになったあとは大切に保存してください。

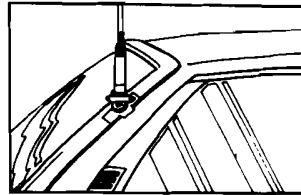
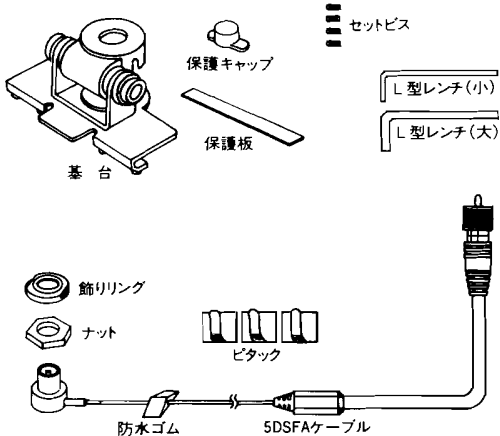
部品を確認しましょう

パッケージの中には次の製品(部品)が入っています。

■ K400



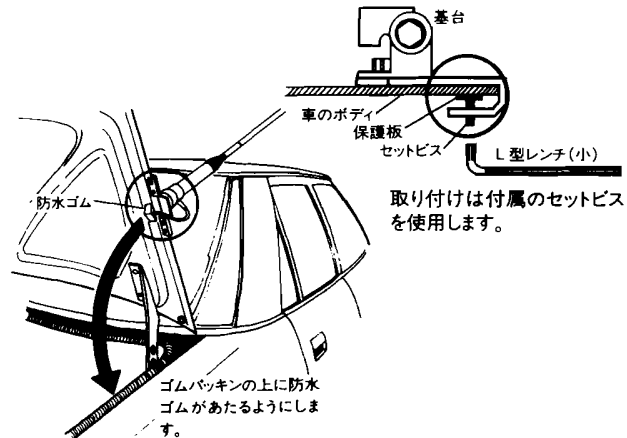
■ K400M



ハッチバックへ固定

■ トランクリッドへの取付方法

K400の基本的な取り付けは、図のように行います。車をキズつけないために保護板を使用してください。(ノンラジアルアンテナの場合)



取り付けは付属のセットビスを使用します。

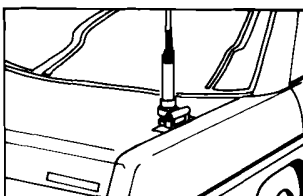
実際のトランクリッドへの取り付けは図のように行ってください。防水ゴムはゴムパッキンの上にあてて、雨水がトランクルームへ入るのを防ぎます。

※ケーブルはK400Mのみに付属されています。

K400の使い方

K400はトランクリッド、トランクテール、ハッチバックなどへ固定できます。

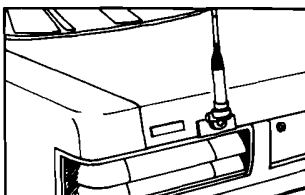
図のように取り付けられる場所を選んで基台を固定します。



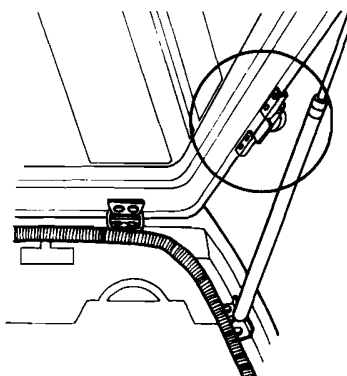
トランクリッドへ固定

トランクテールへ固定

※トランクテールの場合にはSWRが下がらないこともあります。



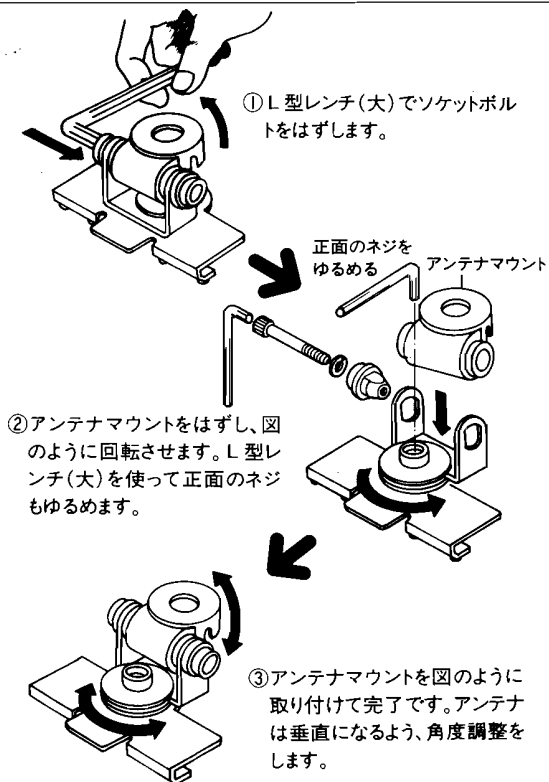
■ ハッチバックへの取付方法



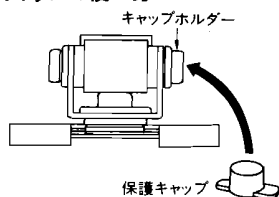
セットビスとL型レンチ(小)を使い、ハッチバックへ図のように固定します。車のボディをキズつけないようにセットビスのあたり場所へ保護板をはさみこんで使用してください。(ノンラジアルアンテナの場合)

防水ゴムはゴムパッキンの上にあてて、雨水が車内へ入るのを防ぎます。ケーブルを車内へ引き込む場所のみテフロン同軸を使っているので簡単に引き込めます。(K400Mのみケーブルが付属)

K400の変角一例



■保護キャップの使い方



アンテナを付けたとき不要になった保護キャップは図の位置へかぶせます。

アンテナを取りはずしたとき、基台にあるコネクタに水やほこりなどが入らないようにするため保護キャップを使用します。

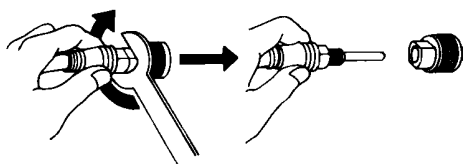
万一、コネクタに水がかかった場合は、完全にふきとってからアンテナを取り付けてください。

保護キャップを使用しないときはキャップホルダーに付けておくとう便利です。

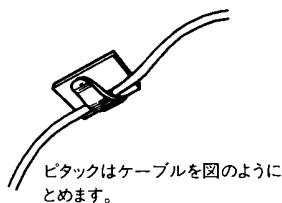
車内へケーブルを引き込むとき

K400Mについては同軸ケーブルが付属されています。トランシーバー側のコネクタは図のように分解できますので、狭い部分(穴など)を通す場合に便利です。(φ13以上)

※K400Mで使用している太い同軸ケーブル(5DSFA)は、低損失で効率のいいケーブルを使用していますので、急な角度に折り曲げたりつぶさないように配線してください。



■ビタックの使い方

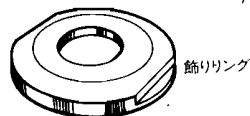


車内でのケーブル配線は付属のビタックを適当な場所に貼ってケーブルを固定させてください。

使わなくてもいい部品もあります

K400Mのケーブルに付属されている飾りリングはスーパーゲイナーアンテナを使う場合は不要です。(アンテナ、基台を一体化したデザインになっているため)スーパーゲイナー以外のアンテナを取り付ける場合に必要となりますのでお使いください。

電気的性能は同じです。



基台部分とアンテナを締付けたとき、すき間があく場合がありますが、無理に締付けますと破損することもあります。(この場合、飾りリングを使用するとフィットします)

SWRが下がらない!

ノンラジアルタイプのアンテナ以外を使う場合は基台が車体へアースされていないとSWRが下がらない場合があります。この場合は基台に付いているセットビスの当たる部分と車のボディとを導通させてください。また、保護板は使用しないでください。(基台と車のボディとを完全に導通をとります。)

■お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故などによる破損がありましたら、取扱店にお申し付けください。

■本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。